



〒045-0202

古宇郡泊村大字茅沼村711番地3  
社会福祉法人 黒松内つくし園  
泊村老人ホーム むつみ荘  
TEL (0135) 65-2255

発行責任者 施設長 高橋 英俊  
編集発行 むつみ荘広報委員会

## 今年の節分は 124年ぶりの2月2日



今年の節分は2月2日！例年なら3日ですが、地球が太陽の周りを1周する時間が365日ちょうどにならないとその年の節分の日が変わるそうです。2になるのは、明治30年以来124年ぶり、3日ではなかった日は

昭和59年の2月4日以来37年ぶりだそうです。利用者にそのことを伝えると「そうなんだね～」「来年の節分は何日になるの？」と話される方もいました。節分は、春の始まりを表す立春の前日が『節分』

にあたりますが、まだまだ“春”には程遠いお天気の日に、ユニットでは豆まきを行いました。「鬼になる」と自ら赤鬼のお面をつける利用者もいました。「鬼は外～！福は内～！」と笑いながら健康



# 職員募集!!

## ~老人ホームで一緒に働きませんか?~

むつみ荘では、支援員・介護員・看護師を募集しております。施設の仕事に興味ある方は、是非ご応募ください。一緒に働いてくれる方をお待ちしております。

### ●勤務時間●

- ・シフト制（パート勤務可）  
※特に、夜間勤務可能な方大歓迎！

### ●資 格●

#### 【支援員・介護員】

- ・介護福祉士、ホームヘルパー2級以上 等  
※資格がなくても可(応相談)

#### 【看護師】

- ・正看護師・准看護師



### <連絡先>

0135-65-2255  
(担当：高橋)

祈願と、今年はたくさん外出や行事ができるようにと願いながら、楽しそうに豆をまき



ました。豆まきの後は、大きな器からお菓子や豆を掴み、年齢の数とはいきませんが職員と一緒に話をしながら食べられていきました。3日の昼食で、助六やすまし汁、茶わん蒸しなども食べました。



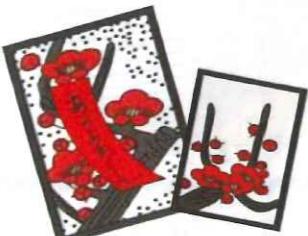
## 久しぶりの毛筆に夢中

機能訓練用に習字の道具を購入し、特養のユニット内で書道を始めました。利用者は手本を見ながら真剣な表情で筆を運び、【とめ・はね・はらい】を意識しながら何枚も書き上げていました。どちらが見本か判らないくらいの出来栄えで、皆さん達筆な方ばかりです。「久しぶりに筆を持ったけど、習字はいいね」「ちょっと緊張したけど、1ヶ月に一度位ならやってもいいかな」

と気に入られた様でした。ユニット職員からは「文字に色氣があってステキだね」「上手な人は手が汚れないって聞いたことがありますけど、皆さん字がキレイだからやっぱり手は汚れていないですね」など、職員と談笑しながら30分ほどでしたが、和気あいあいとした良い時間を過ごされていました。



## 熱い戦いが開幕!! ~記憶をたよに~

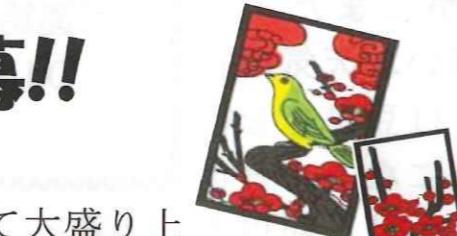


養護では利用者が集まり、懐かしい花札をしています。「みんなで花札始めたんだ。しばらくやってないからルールは忘てるけど、



みんなで思い出しながらやるのはとっても楽しいよ。」と他の利用

者も見に来て大盛り上がり。時間を忘れ寝る前まで楽しんでいる時もあります。花札の他にも、トランプをしている方も居ます。ユニット内でいろいろ工夫をして、皆さん楽しまれています。



## ★面会等についてのお願い★

道内で新型コロナウィルスの感染が拡大し感染予防対策が強化されたことに伴い、現在当施設では入居者様への**面会並びに外出・外泊を禁止**とさせていただいております。尚、緊急を要する場合の面会については、職員にその旨お伝えください。面会の際は、検温

を行い37.5℃以下の方に限りマスクの着用+手指消毒の上面会とさせていただきます。荷物等については、今迄通り事務にてお預かりさせていただいております。ご理解ご協力ください



## 施設長雜感

日増しに柔らかな日差しや雪解けなど春の到来を実感するようになり、長く厳しい冬が終わりを告げようとしております。

2020年度も年度末となり、3月3日の桃の節句にはじまり、卒業や入学、就職・転勤など、それぞれのライフステージにおける大きなイベントを迎える時節となり、「人」や「もの」などの移動が慌ただしくなることとなります。

私も昨年3月に北海道庁を定年となり、4月からむつみ荘で働かせていただいておりますが、月日の移り変わりは早いもので、もう1年が経過しようとしております。前職場（苫小牧保健所）では、平成30年9月に発生した「東胆振大震災」の復興業務に没頭し、やっと先の目途が見えてきたと感じ始めた折、昨年2月中旬に職場管内で

「新型コロナウイルス感染症」の陽性患者が発生し、以降はその対応に追われることとなり、むつみ荘でも引き続き、発生の防止に全力を注いできたところです。「新型コロナウイルス感染症」については、最近では新規患者の発生数は減少傾向となっておりますが、国の緊急態宣言は継続中であること、また、後志管内のクラスターが発生していることなどもあり、引き続き、ソーシャルディスタンスの保持や三密の回避などの発生予防対応が求められているところです。

本施設といたしましても、引き続き、安全で安心な施設運営に鋭意努力して参いる所存でありますので、ご家族並びに関係者の皆様におかれましては、今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



泊村老人ホームむつみ荘  
施設長 高橋 英俊